

「被災者支援コーディネート事業」における
企業CSRマッチングの成果について
(同時発表：日本アイ・ビー・エム株式会社)

平成26年度から開始（平成27年1月開始）した「被災者支援コーディネート事業」により、企業のCSR活動と自治体及び現地団体のニーズのマッチングに至ったため報告します。

○内容

日本アイ・ビー・エム株式会社（以下「IBM」という。）及び株式会社ローソン（以下「ローソン」という。）並びにNPO法人イー・エルダー（以下「イー・エルダー」という。）の協力により、陸前高田市復興支援連絡会、NPO法人Switch及び認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつどの3団体に対して各10台、合計30台の再生PCを寄贈する。寄贈を受けた団体は、仮設住宅居住者向けパソコン教室、また、県外への避難者が被災者支援関連情報や求人情報を自ら検索できるようになるためのパソコン教室開催やそのための検索性、会員管理用としての活用など、震災直後とは異なった今だからこそ必要とされる活動への使用を予定している。

IBMは、企業の使用済みPCを買い取り、再生した高品質のPC「IBM Refreshed PC」の一部を東北地方の復興を担う組織に寄贈する施策を実施しており、環境と復興支援への取組に賛同したローソンがPCの買取り・再生をIBMに依頼し、イー・エルダーの協力を経て、今回の寄贈が実現したものである。

【寄贈を受けた団体】

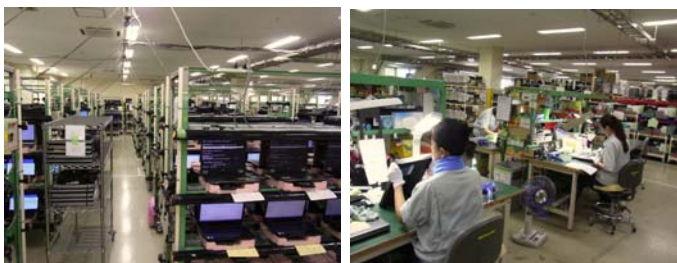
団体名	活用用途
陸前高田市復興支援連絡会	仮設住宅居住者向けパソコン教室、団体業務など
NPO法人Switch	就労支援参加者向けパソコン教室、仮設住宅居住者向けパソコン教室など
認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど	県外避難者向けパソコン教室など

【被災者支援コーディネート事業概要】

復興庁において、平成27年1月から事業実施。被災者の見守りやコミュニティづくりの支援を充実するため、①支援体制の充実、②企業CSR活動（企業の社会貢献活動）と自治体ニーズのマッチング等を実施。

【再生PCについて】

IBMの「お客様所有PC・タブレット買取サービス」では、企業の使用済み機器の買取り・再生を通じて、処分時のコスト・リスクの最小化を支援するとともに、資源の有効活用と環境保護に貢献する。IBMでは、再生した高品質なリユースPC「IBM Refreshed PC」の一部を東北地方の復興を担う組織・団体に寄贈する施策を推進。ローソンでは、PCの適正な処分と再使用という環境への配慮や東北の復興支援に役立てるためにPCの買取り・再生をIBMに依頼。イー・エルダーの協力を経て、各団体10台、合計30台が出荷される。



企業から回収後、IBM品質基準を遵守したデータ消去作業、専門技術員によるクリーニング・稼働テストを経て、高品質な再生PC「IBM Refreshed PC」として生まれ変わる。

(本件照会先)

復興庁 被災者支援班

参事官 牛島、担当 北中

TEL 03-5545-7481